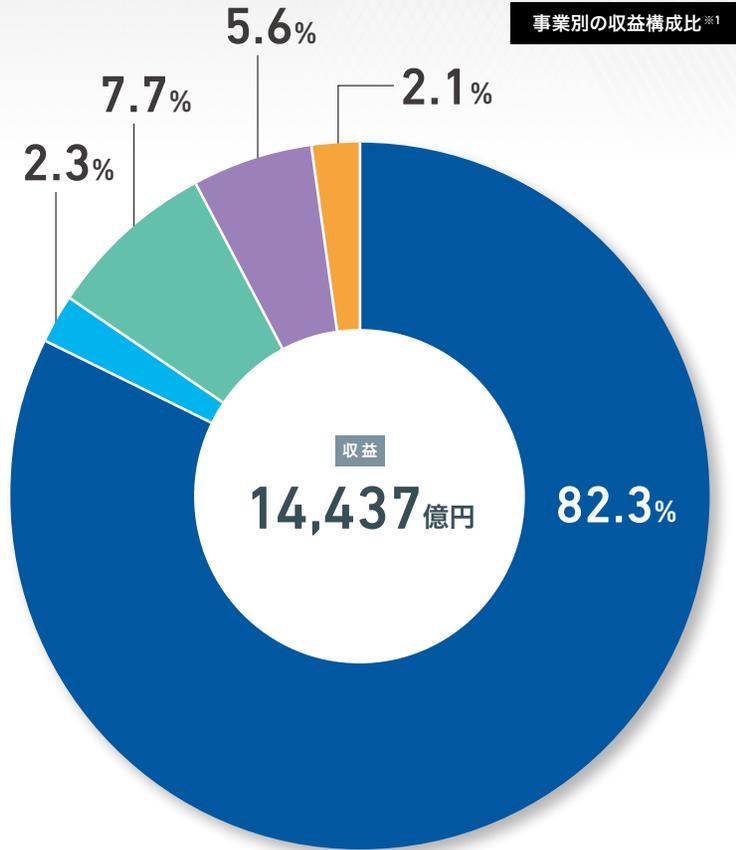
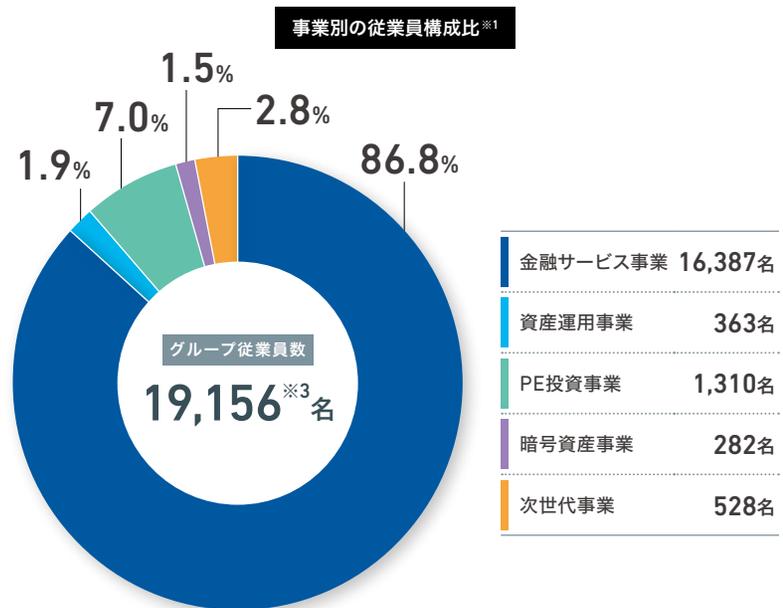
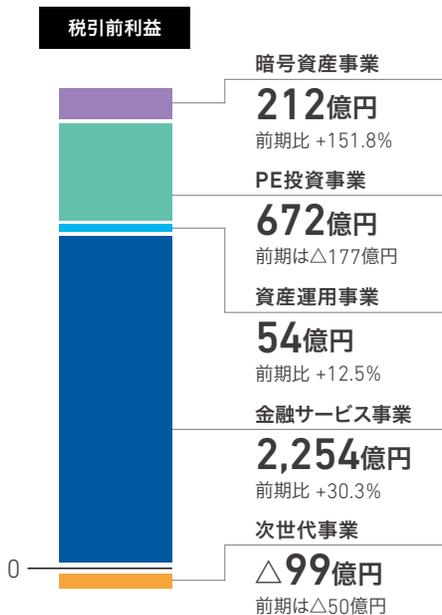


# SBI GROUP AT A GLANCE

(2025年3月期)



金融サービス事業	収益 12,022億円 前期比 +9.9%
資産運用事業	収益 338億円 前期比 +14.8%
PE投資事業 <sup>※2</sup>	収益 1,127億円 前期比 +341.5%
暗号資産事業	収益 808億円 前期比 +41.4%
次世代事業	収益 307億円 前期比 +15.1%



金融サービス事業	16,387名
資産運用事業	363名
PE投資事業	1,310名
暗号資産事業	282名
次世代事業	528名

※1 事業セグメント別の収益および従業員数構成比率は、各事業セグメントの収益および従業員数合計に対する構成比率を記載しています。

※2 2025年4月より投資事業はPE投資事業へと名称を変更しています。

※3 全社共通人員など286名を含めています。

# 金融サービス事業

収益

12,022億円

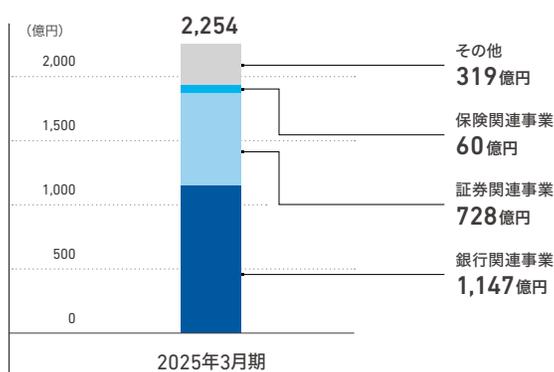
前期比 +9.9%

税引前利益

2,254億円

前期比 +30.3%

## 税引前利益の内訳



※億円未満四捨五入

## 主要企業

### 銀行関連事業

SBI新生銀行  
 新生フィナンシャル  
 アプラス  
 昭和リース  
 SBI新生アセットファイナンス  
 住信SBIネット銀行  
 SBI貯蓄銀行  
 SBI Bank  
 SBI LY HOUR BANK  
 TPBank  
 SBIアルヒ  
 SBI地銀ホールディングス

SBI Royal Securities  
 SBI Thai Online Securities  
 BNI SEKURITAS

### 保険関連事業

SBIインシュアランスグループ  
 SBI損害保険  
 SBI生命保険  
 SBIいきいき少額短期保険  
 SBI日本少額短期保険  
 SBIリストア少額短期保険  
 SBIプリズム少額短期保険  
 SBI常口セーフティ少額短期保険  
 SBIベット少額短期保険  
 Ly Hour SBI Insurance

### 証券関連事業

SBI証券  
 SBIリクイティティ・マーケット  
 SBI FXトレード  
 SBIマネープラザ  
 SBIネオトレード証券  
 FOLIOホールディングス  
 SBIベネフィット・システムズ  
 ジャパンネクスト証券  
 大阪デジタルエクスチェンジ  
 FPT Securities

### その他金融サービス関連事業

SBIリーシングサービス  
 SBIネオファイナンシャルサービスーズ  
 SBI FinTech Solutions  
 SBIレミット  
 SBIビジネス・ソリューションズ  
 SBI Ripple Asia  
 THEグローバル社

## 2025年3月期の事業概況

### 銀行関連事業

- SBI新生銀行は、法人営業やストラクチャードファイナンス、住宅ローン、ノンバンク、海外事業での営業性資産の残高増加による収益に加え、インオーガニックを含む戦略の成果等が寄与し、日本会計基準において前期比で増収増益を達成
- 住信SBIネット銀行は、住宅ローン事業で貸出が順調に拡大したほか、運用利回り上昇により資金運用収益が増加したこと等を背景に、当社におけるIFRS取り込みベースの持分法による投資利益は前期比44.3%増
- 韓国のSBI貯蓄銀行は、基礎的収支が堅調に推移し、融資債権劣化はほぼ収束するなど業績は改善傾向にあり、自己資本比率も17.81%と過去最高を記録

### 証券関連事業

- SBI証券は「ゼロ革命」による約380億円の逸失収益を、収益源の多様化により挽回し、前期比で増収増益を達成
- 金融収益、トレーディング収益がそれぞれ過去最高を達成したほか、2023年12月1日より開始した「ゼロ革命」第三弾における米ドル/円のリアルタイム為替手数料の無料化を追い風に外国株式の売買が増加し、外国株式による手数料収益は過去最高を記録
- 「ゼロ革命」による顧客基盤の増加と新NISAの普及を追い風に投資信託残高が大幅に増加し、投資信託の信託報酬額は過去最高を達成

### 保険関連事業

- SBIインシュアランスグループは、前期に引き続きグループ全体の保有契約件数の堅調な増加により、経常収益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益がいずれも過去最高を更新
- 2025年3月期の業績動向を踏まえ、1株当たり配当金を前期比5円増配し、23円の期末配当を実施

## 資産運用事業

収益

# 338億円

前期比 +14.8%

税引前利益

# 54億円

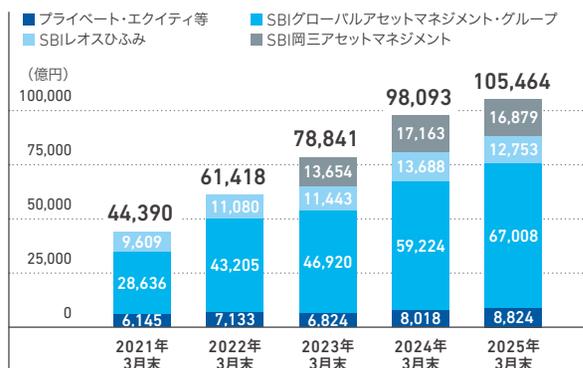
前期比 +12.5%

主要企業

SBIグローバルアセットマネジメント  
SBIアセットマネジメント  
ウエルスアドバイザー  
Carret Asset Management  
SBIレオスひふみ

SBI岡三アセットマネジメント  
SBIオルタナティブ・アセットマネジメント  
SBI-Manアセットマネジメント

運用資産残高の推移



2025年3月期の事業概況

- 新NISA開始による各社の運用資産残高が大幅に増加したこと等も寄与し、同事業セグメントの収益は過去最高を更新
- SBIグループの運用資産残高は、2027年度中に20兆円達成を目指す中、2025年3月末時点で10.5兆円
- SBIグローバルアセットマネジメントにおいては、売上高は6期連続、経常利益は14期連続で過去最高を更新

## PE投資事業

収益

# 1,127億円

前期比 +341.5%

税引前利益

# 672億円

前期は△177億円

主要企業

SBIキャピタルマネジメント  
SBIインベストメント  
SBI新生企業投資  
SBI地域事業承継投資  
SBIデジタルストラテジック  
インベストメント

SBI Hong Kong Holdings  
SBI VENTURES ASSET  
SBI Ven Capital  
SBI Investment KOREA  
思佰益(中国)投資有限公司

公正価値評価の変動による  
損益および売却損益の内訳

	(百万円)	
	2024年3月期	2025年3月期
公正価値評価の変動による 損益および売却損益	△14,346	72,756
上場銘柄	7,929	7,634
未上場銘柄	△22,275	65,122

2025年3月期の事業概況

- AIやブロックチェーン、暗号資産関連の複数の未上場銘柄の評価額が上昇した結果、前期の税引前損失から672億円の黒字へと大きく改善

※2025年4月より投資事業はPE投資事業へと名称を変更しています。

# 暗号資産事業

収益

808億円

前期比 +41.4%

税引前利益

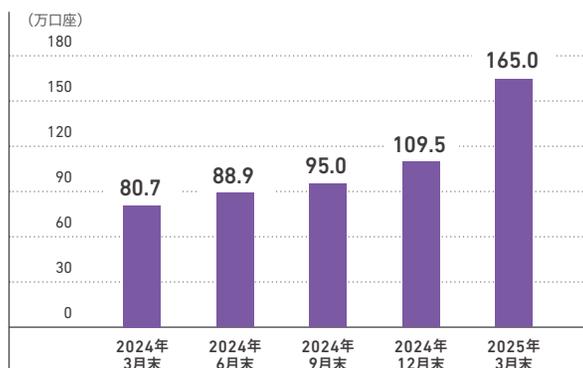
212億円

前期比 +151.8%

主要企業

SBI VCTレード  
ビットポイントジャパン  
B2C2  
HashHub

SBIグループの暗号資産取引所における顧客数の推移※



※SBI VCTレードとビットポイントジャパンの口座数の合算

2025年3月期の事業概況

- 世界の暗号資産市場が活性化したことを背景に、B2C2が大きく伸長したことに加え、暗号資産取引所での顧客基盤の拡大や新施策が奏功し、同事業セグメントにおける収益、税引前利益は過去最高を更新
- 暗号資産取引所事業では、収益基盤の安定化に向け、ステーキングなどのストックビジネスやレバレッジ取引を強化
- 2025年3月、暗号資産取引サービスを提供する(株)DMM Bitcoinから全ての口座・預り資産の移管を受け、SBI VCTレードの口座数は約127万、預り残高は約4,000億円に増加

# 次世代事業

収益

307億円

前期比 +15.1%

税引前利益

△99億円

前期は△50億円

主要企業

SBIファーマ  
SBIアuproモ  
SBIバイオテック  
メディカル・データ・ビジョン  
SBIデジタルアセットホールディングス  
SBIセキュリティ・ソリューションズ  
SBI DIGITAL MARKETS  
ASIA DIGITAL EXCHANGE HOLDINGS

SBI R3 Japan  
SBINFT  
SBIウェルネスバンク  
SBIスマートエナジー  
SBIトレーサビリティ  
まちのわホールディングス  
マイナビ

SBIアuproモが「機能性表示食品制度」に基づき届出を行い消費者庁に受理された機能性表示商品 ( ) : 発売開始時期

- アラプラス 糖ダウン (2015年12月)
- SBI(エスピーアイ) イチヨウ葉 (2017年12月)
- アラプラス 糖ダウン リッチ (2018年11月)
- アラプラス 深い眠り (2019年3月)
- アラプラス からだアクティブ (2019年10月)
- 発芽玄米の底力 (2021年4月)
- アラプラス メンタルケア (2021年7月)
- アラプラス 糖ダウン アラシア (2021年12月)
- アラプラス ゴールド 疲労感軽減 (2022年5月)
- アラプラス 糖ダウンリンク (2022年9月)
- アラプラス 糖脂ダウン (2023年7月)
- アラプラス 糖ダウン ソフトキャンディー (2024年3月)
- アラプラス こころケア ソフトキャンディー (2024年3月)

※2025年6月末時点

2025年3月期の事業概況

- バイオ・ヘルスケア&メディカルインフォマティクス事業では、5-ALA関連事業において前期に計上した健康食品事業用の原料在庫の評価替えに伴う特別損失がなくなり、黒字を確保
- まちのわホールディングスは黒字化したものの、Web3・デジタルアセット等の先端技術領域全体としては未だ先行投資の段階